

平成 30 年 10 月 3 日

東京オリンピック・スポーツライミング競技 競技会場医療ボランティア・スタッフ（正看護師）募集のご案内

2020 年東京オリンピックにおいて開催されるスポーツライミング（以下 SC）競技の競技会場の救護業務を、日本山岳・スポーツライミング協会（以下 JMSCA）の競技部医科学委員会が担当することになりました。つきましては救護班の看護師を以下の条件の下で募集したいと思います。

A 救護体制の概要

- 1) 救護体制：会場医療責任者（未定）の元に選手用医療統括医師（中島）と観客用医療室統括医師（未定）が配置。
今回の募集は選手用医療班における看護師の募集です。約 14 名の看護師スタッフを見込んでいます。救護スタッフは基本的に医師、看護師、理学療法士の 3 職種により構成されます。
- 2) 業務内容：選手と役員を対象とし、応急処置の補助や傷病者の看護
- 3) 期日 (1) 7 月 14 日（選手村開村日）以降の公開練習期間（日程は未定）
(2) 8 月 4 日～7 日 本大会期間中
- 4) 勤務時間帯 (1) 14:30～19:30
(2) 19:30～0:30 2 交代制*
*:公開練習期間においては勤務時間に変更になる可能性もあります。
- 5) 競技会場： 東京都 お台場 青海アーバンスポーツ会場（住所未定）

B 看護スタッフの条件

- 1) 公開練習期間、本大会期間中に合わせて 5 日以上勤務できる。連日でなくても可。
- 2) 交通費は一定額支給されるが、宿泊代は支給されず宿泊場所も確保されない。
- 3) 日当は支給されない。
- 4) 勤務時間帯の食事は支給される。
- 5) 救護班のユニフォームは支給される。
- 6) 競技ルールを理解している。あるいは理解する予定。
- 7) JMSCA の加盟団体（都道府県山岳連盟、協会など）に所属している。
- 8) オリンピック組織委員会が開催する事前研修会に参加できる（2020 年に 2 日間ほど開催予定）
- 9) 2018 年 11 月以降に開催される JMSCA が主催する SC 競技全国大会あるいは国際大会^{#1}に医療ボランティアとして一定期間以上^{#2}参加できる。
- 10) 東京近郊に住んでいる。あるいは東京近郊に宿泊できる知人がいる。
（本大会期間中は一般宿泊施設に宿泊するのは困難と予想される。）
- 11) JMSCA 競技部医科学委員会の委員の推薦がある。

#1：2018 年 11 月 アジア選手権（鳥取県）5 日間
2018 年 12 月 全国高校選抜（埼玉県）2 日間
2019 年 1 月 ボルダリングジャパンカップ（東京） 2 日間
2019 年 3 月 リード日本選手権（未定）2 日間

2019年3月 日本ユース選手権リード大会（千葉） 2日間

2019年8月 クライミング世界選手権（東京）など

#2：リード競技—1日間 かつ ボルダリング競技—1日間
あるいはコンバインダー競技2日間

C 申請先、問い合わせ先

申請希望の方は下記の内容を明記した上でメールして下さい。勤務条件について確認したのちに採用判定します。なお、採用の際には看護師免許証の写しを送付していただきます。

*問い合わせについても以下の内容を明記してください。

- 1) 氏名
- 2) 年齢
- 3) 居住都道府県
- 4) 所属団体
- 5) 推薦者
- 6) メールアドレス
- 7) 問い合わせ内容

*メールの件名には「オリンピック看護師」と記入をお願いします。

(申請先、問い合わせ先)

JMSCA 競技部医科学委員会

副委員長 中島隆之

メールアドレス：nakajima@yu-ai.net